

2017 展覧会 & イベントスケジュール

3 月 1 日 (水) ~ 4 月 17 日 (月)

「浅間山噴火と軽井沢文学」

東日本大震災 (2011.3.11) から 6 年を迎えるのを機に、浅間山の噴火活動に関連する、文学にあらわれた噴火や噴煙を描写した作品を、肉筆資料、著作、絵画、初出紙誌などで紹介します。全国文学館協議会・第 5 回共同展示 (「3.11 文学館からのメッセージ」) に 5 年連続で参加したものです。

4/18,19,20 休館

4 月 21 日 (金) ~ 7 月 10 日 (月)

「軽井沢を愛した文学者・芸術家たち スペシャル」

コーナー展示「遠藤周作『沈黙』と加賀乙彦『殉教者』」
明治以降に軽井沢を訪れ、創作活動を行った文学者・芸術家の作品を、肉筆資料、著作、初出紙誌、絵画など約 200 点で紹介します。また当地で初稿が書き上げられた遠藤周作「沈黙」(M. スコセツシ監督映画作品 2017 年 1 月日本公開)と昨年発表された加賀乙彦「殉教者」(ペトロ岐部の生涯)の、江戸初期を扱った 2 作をコーナー展示。2015 年に寄贈を受けた幅北光写真資料も紹介。

7/11,12,13,14 休館

7 月 15 日 (土) ~ 10 月 9 日 (月・祝)

夏季特別展「野上弥生子展 ~ 99 歳まで書き続けた作家 ~」(仮称)

漱石との出会いにより文学に開眼し、明治・大正・昭和を生き抜き、99 歳まで現役の作家として書き続けた類無い明察者、野上弥生子の生涯と文学を紹介します。弥生子は「真知子」終章以降、「迷路」「秀吉と利休」「森」など長編のほとんどを北軽井沢山荘で執筆。昭和 3 年以來、こよなく愛した北軽井沢での暮らしぶり、文化人・文学者との交友、子どもの本等も紹介。2017 年度センター試験国語出題「秋の一日」。北軽の野上書斎は 1996 年、当館に移築保存。

10/11,12,13 休館

10 月 13 日 (金) ~ 11 月 30 日 (木)

「軽井沢ゆかりの文学を訪ねて」

明治末期から今日に至るまでの軽井沢ゆかりの作家約 50 人の、軽井沢を舞台に描いた詩・小説・随筆・戯曲・俳句・短歌などを、著作、原稿、書簡、初出紙誌、写真等の館収蔵資料約 150 点で紹介します。軽井沢の豊穡な文学の歩みを一望できます。

12/1- 休館

<イベント>

- 高原文庫の会 8 月 5 日 (土) 14 時~ 講師: 谷川俊太郎 (詩人)
「あこのころの北軽井沢 ~ 野上弥生子さんのことなど ~」(仮)
聞き手: 矢代朝子 (俳優、当館理事) 会場: 高原文庫中庭
- 高原の文学サロン 8 月 26 日 (土) 14 時~ 講師: 加賀乙彦 (作家・当館館長)
「野上弥生子と文学と軽井沢」(仮) 会場: 高原文庫中庭
- 朗読会 7 月 22 (土)、23 (日) 各 13 時~、17 時~ (計 4 回) 会場: 旧朝吹山荘「睡鳩荘」
(予約受付開始) 出演: 山本芳樹 (Studio Life)、岩崎大 (Studio Life)、坂本岳大、矢代朝子 (以上、軽井沢演劇部)
(5/10 日 9 時~) エリナー・ポーター「美しき世界」(野上弥生子・中村妙子訳による)
- 文学散歩 ①「新緑の旧軽井沢を歩く」5 月 20 日 (土) 13 時~ ②「晩秋の追分を歩く」10 月 21 日 (土) 13 時~
- 辻邦生山荘見学会 ①6 月 3 日 (土) 13 時~ (※予約受付 4/15 日 9 時~) ②9 月 2 日 (土) 13 時~ ③10 月 7 日 (土) 13 時~ (計 3 回)
- 軽井沢再発見講座 6 月 9 日 (金) 13 時~ 講師: 大藤敏行 (当館副館長)「有島武郎の情死を巡って」
会場: 有島武郎別荘「浄月庵」内ライブラリーカフェ「一房の葡萄」